



第50回同窓会記念総会

平成30年6月9日(土)



好天に恵まれて開催されました第50回記念総会行事には、約300名の同窓生が集い、和やかな一時を共に過ごすことができました。

この日を迎えるまでの道のりには、多くの不安や困難がありました。準備に携わってくださった実行委員会のメンバー、そしてご協力くださった方々は、それぞれの個性と持てる力を存分に発揮し、数々の難局を乗り越えてくださいました。みんなの思いは一つ、「来ていただく同窓生に、海星に戻って来て良かったと思える会にしたい」というものでした。これを支えていたのは、間違いなく大学への熱い思いです。そして、この催しにご参加いただいた同窓生の中にも、同じものを見たような気がします。

この記念総会が成功だったのか、それとも課題を残すものであったのかは、次の世代の評価に委ねたいと思います。しかし、実行委員を始めとし、お手伝いいただきました方々の見事なチームワークを誇りに思います。そして私も、この一員に加わることができたことに心より感謝しています。

ここで感じた同窓生の皆さまの思い、それに応える一歩は何なのかを自らに問いかけつつ、役員と共に歩んで行く所存であります。

会長 深井 佳世子(楠本)E9

Homecoming Day ~愛あふれる一日~

前日の大雨から一転、青空の広がる奇跡のような日に第50回同窓会記念総会・パーティーが開催されました。多くの同窓生にお越しいただくために聖堂や講堂、大学内の食堂や教室を会場とし、約300名の同窓生にご参加いただきました。記念すべき一日を振り返ります。

感謝のミサ



総会に先立ち、アルフレド・セゴビア神父様の司式による『感謝のミサ』が聖堂にて行われました。

神父様はお祝いの言葉として「50という節目に自分の『記憶』をたどってみてください。そして『存続』ということについても考えてみてください。青谷会で得たものは何か、自分が周りに提供できることは何か、考えて行動してみてください。きっとあなたの糧となるでしょう」と述べられました。



総会受付



ビデオレター・学院の歴史



講堂の大きなスクリーンにSr.吉村、Sr.高木が映し出されると懐かしさで客席から歓声があがりました。

現在、横浜の戸塚修道院にいらっしゃるSr.吉村は「あなた方といっばい過ごしてきたことが今の私を作ってくれました」と述べられ、Sr.高木は「本学の創立の精神をいつまでも忘れないでください」と熊本修道院からメッセージをお寄せくださいました。

メッセージのあとは青谷会の活動が紹介され、学院の歴史を映像で振り返りました。

総会



引き続き講堂にて総会が開催されました。

岡村顧問、小野常任顧問のご臨席を賜り、多数の同窓生にご出席いただきました。

議案につきましては「平成29年度事業報告・収支決算報告」「平成30年度事業計画案・収支予算案」「役員改選」の承認を得ました。

続いて東京支部長挨拶、学長挨拶、幹事会と進行し、滞りなく閉会しました。

先生からのメッセージ



ご出席いただいた先生方

後列左より 入子先生、小野学長、岡村先生、中島先生、平田先生
前列左より Sr. 本多、吉岡先生、Sr. 窪、Sr. 橋本

お多からーをモナーにー
ハグスブルニアカにばらえー

入子文子

いつでも気軽に大学に遊び
いらしてください。皆様のお越しを
楽しみにしております。

小野 礼子

海星が愛したぶらぶら出会う
人々と分ち合せて下さい。
いつもアリア様とともにおく!

岡村 祥子

いつも新鮮な気持ちで
原点到底まで大切に!

中島 和子

同窓会の行事がいつも楽しく思い出に
なっています。皆様のご参加を
お待ちしております。

平田 浩子

神様の豊かな祝福と
お祈りをいたします。

本多 正子

前をふいに進んでください

吉岡 治郎

世界がどこまでも海星の国です。
輝き続ける海星の未来を祈ります。

窪 盈子

同窓生の皆様のご活躍と
豊かご祝福をお祈りいたします。

橋本 郁子